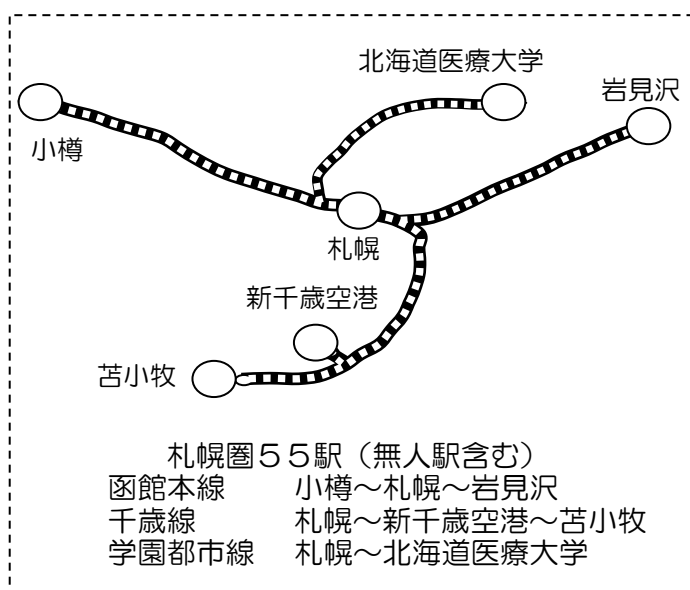


ICカード出改札システムの導入について

JR北海道では、札幌圏での近距離利用のお客様の利便性向上を図るため、平成21年度初からのICカードの導入を目指し、準備を開始します。

1. ICカードによる新サービスの概要

(1) 導入エリアと利用人員見込み

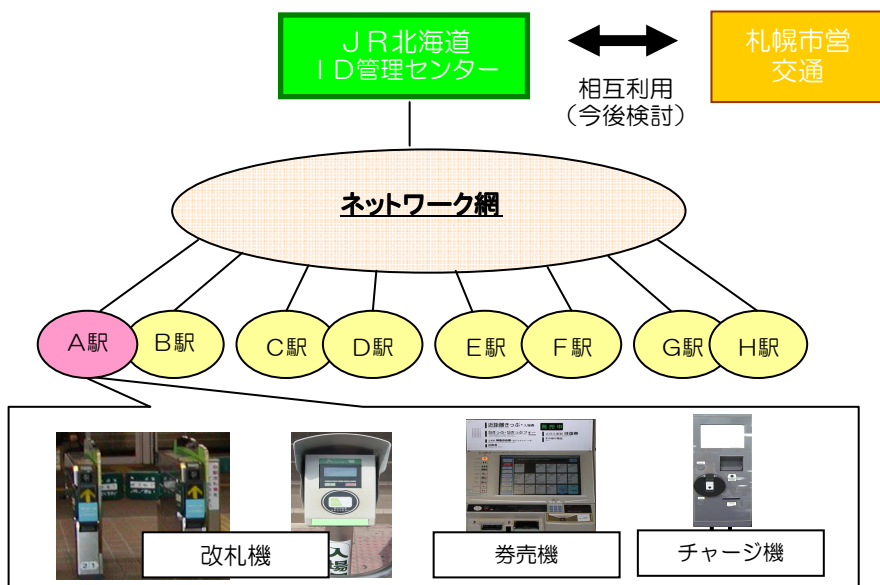


	ICカード利用者	利用率	エリア内全利用者
IC乗車券	26千人	40%	65千人
IC定期券	69千人	90%	76千人
計	95千人	66%	141千人

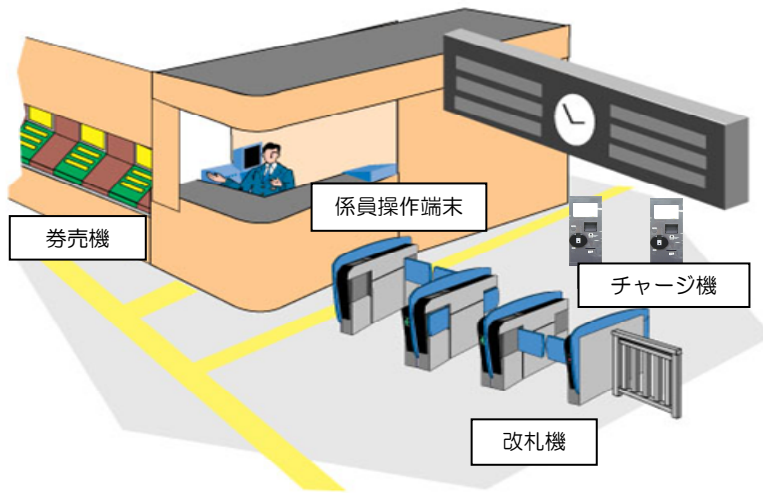
※ 普通・快速のご利用を想定しております。

- ・ 発売するICカード
 IC乗車券・・・プリペイドタイプ
 IC定期券・・・定期券とIC乗車券が一体化
- ・ カード発売の際にはデポジット（預かり金）をお預かりいたします。

(2) システム概要について



(3) 駅イメージ図



機器名	主な機能
券売機	IC乗車券発売 現金積増
改札機	運賃引去
チャージ機	現金積増
係員操作端末	IC定期券発売 再発行処理

(4) 導入効果

お客様にとって

キャッシュ&チケットレス

- きっぷ・オレンジカード不要
- 定期券再発行可能
- タッチ&ゴー（乗降車時の手間軽減）
- 定期券の乗り越し自動精算（現金精算不要）
- 残高不足時は同じカードに積増可能
- 相互利用により他社線でも同様のサービス

鉄道事業者にとって

駅設備のスリム化

- 自動券売機・自動改札機台数の削減

業務改善

- 運賃案内・乗越精算業務の省力化
- 現金取扱業務の軽減

経費削減

- 乗車券発行・オレンジカード発行コストの削減
- 改札機メンテナンスコストの削減

(5) スケジュール

年度	導入スケジュール	備考
平成18年度	開発準備・仕様検討	
平成19年度	システム構築	
平成20年度	モニターテスト	
平成21年度	サービス開始	単独利用開始
		単独開始⇒相互利用 段階的に運用を開始

2. その他

- (1) 自社エリアサービス開始後の札幌市営交通（地下鉄・路面電車）との相互利用の検討を進め、1枚のカードでのJRと地下鉄利用の実現を目指します。
- (2) JR東日本「Suica」との相互利用の実現に向けた検討をしております。
- (3) 電子マネー機能・クレジット機能・モバイル機能等は、将来的に検討をしております。
- (4) 営業推進本部企画部内に「ICカード推進室」を設置します。（平成18年6月1日予定）

※ ICカードの名称は決まり次第お知らせします。

（問い合わせ先 営業推進本部 企画部 ICカードグループ 011-700-5875）